

お手製バイオディーゼルでアメリカ横断中 目指すは世界一周！

フォトジャーナリストとしてダカールラリー（パリ・ダカ）をはじめとするレース取材を数多く手掛け、自身もバイクでのサハラ砂漠単独縦断経験を持つ山田周生氏。その山田氏を筆頭に3人のメンバーが「バイオディーゼルアドベンチャー」プロジェクトを立ち上げ、現在、バイオディーゼル車でアメリカを横断中。各地で廃食油を集めてバイオディーゼルの作りながら世界一周しようという試みだ。市販のものではなく、手製のバイオディーゼルで走行を続ける。これを可能にしたのは、山田氏が考案した車載可能な精製システム。

劣化が激しい場合を除き、1ガロンの廃食油からほぼ1ガロンのバイオディーゼルが精製できる。精製に必要な時間は最低24時間。精製システムを搭載した車でも、1ガロン当たり20マイル走るそうだ。

昨年の12月4日、東京を出発した一行は、カナダ経由でアメリカに入国。シアトルを

経て3月上旬、ロサンゼルスに到着した。その後、アリゾナ、ニューメキシコ、テキサス、ニューオーリンズ、ニューヨークなどを回った後、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アジアを経て東京に戻る。日程は、廃食油の集まり状況によっても左右されるので未定。プロジェクト達成に向け、各地でボランティアや廃食油の提供を募集している。また、環境やエネルギー、ライフスタイルをテーマに山田氏が取材した内容をまとめたスライドやDVDも持参しているので、要望に応じてバイオディーゼル車を持ち込んでの出張セミナーなども可能とのこと。



■詳細：www.biodieselandventure.com

■問い合わせ先：Satire Murata: Tell: 505-670-8462

satori@cybermesa.com



レストラン「松久」から譲り受けた廃食油をバイオディーゼル精製機に注ぐ山田氏

山田氏考案の車内に搭載できるバイオディーゼル精製機。「技術や情報はシェアした方がより良い発展につながる。良いものはシェアしてできるだけ早く目標に到達し、気持ちの良い（環境に良い）暮らしをしよう」という考えから、特許は申請しなかった

